

かがわマラソン(仮称)基本計画書 <概要版>

1 開催概要(基本計画書P2)

- 大会名称 : かがわマラソン2026 (仮称)
- 開催日程 : 令和8年(2026年)3月15日(日)
- 参加人数 : 10,000人
- 種目 : マラソン(42.195km) ※日本陸上競技連盟公認取得を目指す
※ファンランを別途計画
- スタート : 午前9時から午前10時で検討
- 制限時間 : 6時間
- 主催 : かがわマラソン(仮称)実行委員会
構成団体(香川県、高松市、綾川町、
一般財団法人香川陸上競技協会ほか31団体)
- 主管 : 一般財団法人香川陸上競技協会(予定)

2 開催目的(基本計画書P2)

- (1) スポーツ文化の醸成
- (2) 交流人口の拡大
- (3) 地域資源の魅力を県内外に発信
- (4) 地域経済の活性化



Copyright(C)2021 Kagawa Prefectural Government and SANAA. All rights reserved.

3 大会コンセプト(基本計画書P2)

だし惜しみなし! 香川の魅力

瀬戸内海や里山・都市という香川ならではの風景を、県内外から多くのランナーに爽やかな風を感じてもらいながら走っていただく。香川の食文化・伝統芸能やおもてなしまで、すべてを愉しんでいただける大会に。

“オール香川”のコシのある力強さが、香川を盛り上げる!

ランナーもボランティアも応援する人もみんなが楽しめて、香川県民総出で盛り上げる、特別な一日を。香川の新しいお祭り スタートです!

4 大会スローガン(基本計画書P2)

「みんなで、よーい、うどん!」

5 コース概要・コース設計における基本方針(基本計画書P3~4)

(1) スタート・フィニッシュ会場の基本的な考え方

- ・ 1万人のランナーを、安全にスタート・フィニッシュさせることが可能な道路やスペースが周辺に存在すること
- ・ 更衣室、手荷物預かり所、仮設トイレ、ランナーサービス等のエリア内に必要とする要素がすべて収まるスペースが存在すること

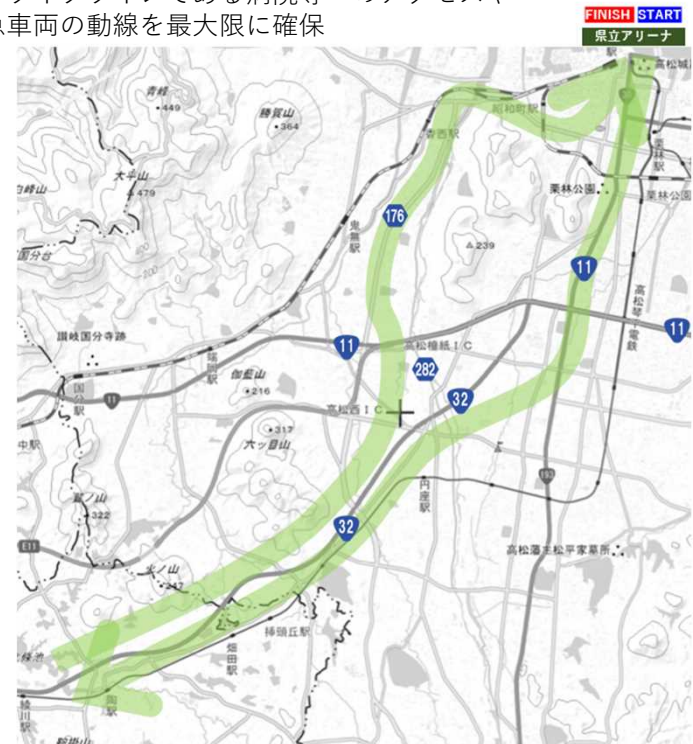
- ・ ランナーや観客等を円滑に輸送することが可能な公共交通機関が近くに存在し、会場までの動線が分かりやすいこと
- ・ フィニッシュにふさわしいランドマークとなるような施設であり、ランナーの達成感を醸成できること
- ・ 既存の公共施設を有効活用すること

(2) コースの魅力

- ・ コースの起伏を最小限に抑えたランナーにとって走りやすいコース
- ・ 高松中心部を発着する都市型のコース設計により、ランナーや応援者のアクセスが良いことに加え、にぎわい創出が期待できるコース
- ・ 高松の目抜き通りである中央通りを走り抜ける非日常感あふれるコース
- ・ 特別名勝「栗林公園」や里山など讃岐平野ののどかな風景、瀬戸内海を臨めるなど、香川の魅力や自然を満喫できるコース

(3) 地元住民への影響を最小限に抑える方策

- ・ コースラインや川に囲まれるような、居住エリアの袋小路を極力回避
- ・ 鉄道軌道避け、公共交通機関への影響を最小化
- ・ 交通渋滞の発生を極力抑制するような迂回路の確保
- ・ 住民生活のライフラインである病院等へのアクセスや消防等緊急車両の動線を最大限に確保



コース概要は変更となる可能性があります

かがわマラソン(仮称)基本計画書 <概要版>

6 競技計画・運営計画(基本計画書P5~8) ※以下の取組みを実施・検討する。

(1)ランナー募集方法

- ・先着方式、抽選方式のメリット、デメリットを比較して、エントリー方式を検討

(2)ランナー受付

- ・マラソン本番前日に実施
- ・協賛企業ブースや地元PRブースエリアを設置して、にぎわいを醸成

(3)給水・給食所

- ・香川らしい給食内容の検討(地元企業、団体の協力を打診)

(4)審判員

- ・行政職員、ボランティアと業務分掌を明確にし、審判員との円滑な連携を図る

(5)医療・救護

- ・医師、看護師、救急救命士、救護スタッフ等の適切な人数配置を検討
- ・AED等の救護アイテムを適切に配備

(6)ボランティア計画

- ・ボランティア募集から当日の管理までを行うボランティアセンターを設置
- ・地元各団体へのボランティア活動依頼

(7)交通対策・安全対策

- ・適正な資機材とスタッフによるランナーと一般車両の安全な分断
- ・地元住民へ交通規制の周知と迂回路の案内
- ・ノーマイカーデーの呼びかけ
- ・緊急指定交差点(競技中に緊急車両をコース横断させる交差点)の設置を検討

(8)警備・誘導

- ・会場内においてランナー専用エリアと応援者エリアを明確に区別し、双方にとってストレスのない規制エリア計画を構築
- ・スタートやフィニッシュ、人が集まりやすい沿道地点での安全な雑踏警備計画を構築

7 地域の盛り上げ計画(基本計画書P9~11) ※以下の取組みを実施・検討する。

さまざまな関連イベントを大会前や当日にマラソンの会場やコース沿道で実施し、県民全体が新しい“お祭り”として楽しみ、参加してもらえる大会を目指す

(1)香川県内参加者裾野拡大施策

- ・県民先行枠の設定や初心者でも参加しやすいファンランを設定
- ・オリジナル応援グッズ作成
- ・オフィシャル練習会の実施

(2)かがわマラソンEXPO2026(仮称)

- ・EXPOは参加ランナーだけでなく、一般の方にも参加していただき、県産品等が一挙に楽しめるイベントとして、県全体のPRを実施

(3)沿道応援イベント

- ・沿道パフォーマンスエリアを設置し、ブラスバンド、ダンスなどを披露
- ・伝統芸能でランナーを盛り上げるとともに、文化を発信できる場として活用

(4)インフルエンサー等とのタイアップ

- ・他大会での成功事例を基に、新しいマラソンファン層を開拓できる人気インフルエンサーの起用を検討

8 地域への経済波及計画(基本計画書P12) ※以下の取組みを実施・検討する。

マラソン大会開催をメイン事業とした経済波及効果だけではなく、さまざまな事業と連携し、経済波及効果の最大化を目指す

(1)香川まるとPRエリアの設置

- ・一般参加可能な県産品等が飲食できるスペースをEXPO会場やフィニッシュ会場に設置

(2)ランナーお接待サービス

- ・フィニッシュ後のランナーサービスとして、県産品の配付やマッサージコーナーの設置など、ランナーへのおもてなしを充実させ、香川のお接待文化を感じていただき、イメージアップへとつなげる

(3)街のにぎわい創出

- ・地元商店街と連携し、ランナーや応援者へサービス券を配布するなど、足を運びたくなる施策を実施することで、街のにぎわいを創出し、来県のリピーターの獲得を目指す

(4)かがわマラソンお土産セット

- ・ご当地のお菓子、ドリンク等をEXPOで限定セット販売
- ・お土産として、自宅に帰ってからも香川を楽しめる商品を展開

(5)給水・給食で魅力ある香川の食を提供

- ・うどんをはじめとした、香川の魅力ある食をコース上の給水・給食所で提供することで、ランナーの疲れた体に活力を与えるとともに、香川の魅力を感じてもらうことで、大会後の購買意欲を醸成

9 協賛等募集計画(基本計画書P13~14) ※以下の取組みを実施・検討する。

(1)国内大手企業のほか、多くの地元企業から協賛を得ることで地域全体で支える大会づくり

(2)最上位ランクにプラチナパートナーを設け、獲得協賛金を最大化

(3)上位協賛ランク企業、配慮しなければならない業種の企業を除き、競合排除権を原則撤廃

(4)協賛枠のすそ野を拡大し、県内の地元企業に多数かつ多様に参画いただける機会を創出

(5)競技運営、大会運営に必要な物品・サービスにおいて、現物協賛を幅広く検討、獲得

10 広報計画(基本計画書P15) ※以下の取組みを実施・検討する。

かがわマラソン(仮称)の魅力発信で参加者の拡大を図るとともに、交通規制の周知など大会開催の周知広報計画を、県内向け、県外向け、国外向けに検討